

◎宝塚線川西能勢口駅構内 入換信号冒進によるポイント損傷

2012年1月18日に発生させた本輸送障害は、近畿運輸局から文書による警告指導を受けておりますので、「4.4 行政指導事項」をご参照願います。

◎京都本線 淡路駅構内 ポイント故障

日時 2012年2月7日(火)23時13分頃

場所 京都本線 淡路駅構内

概況 河原町発梅田行の普通列車が淡路駅5号線を出発しようとした際、信号が赤のまま変わらず、ポイントの転換もできませんでした。係員が関係するポイントを手動で転換させましたが、状況が変わらなかったため、上記列車の営業を同駅で取り止め、後続の列車は全て4号線を使用して運転しました。

原因 ポイントの制御リレー内部の部品故障

影響 運休4列車 遅延23列車

対策  
 ・故障したリレーと同型で同時期に製造されたリレーを全て交換しました。  
 ・今後、同型リレーは、交換する周期を短くして故障の未然防止に努めてまいります。



## 4-4 行政指導事項

2011年度ならびに2012年度におきまして、以下の不祥事・事故に対し、近畿運輸局より行政指導(警告を含む)を受けました。それぞれ対策を策定し、再発防止に向けて取り組んでおります。

◎宝塚本線 運転士による乗務中の携帯電話使用

日時 2011年10月13日(木)19時20分頃

場所 宝塚本線 曾根駅-池田駅間

列車 梅田発 雲雀丘花屋敷行 普通列車

概況 石橋駅ごあんないカウンターに「上記列車の運転士が携帯電話を操作していた」とお客様からお申し出がありました。ただちに当該運転士に確認したところ、曾根駅と川西能勢口駅間において計4回にわたって携帯電話を使用していたことが判明しました。

対策  
 ・乗務員の乗務中における携帯電話所持禁止を再徹底しました。  
 ・乗務中に乗務員が携帯電話を保管するロッカーを設置しました。

◎神戸線 西宮車庫内 入換信号の停止信号冒進によるポイント損傷・脱線事故

日時 2011年11月11日(金)6時40分頃

場所 神戸線 西宮車庫構内

概況 出庫前の起動試験中に運転士が車両を前進させた際、入換信号機の停止現示を見落とし進行したため、進路が開通していないポイントを損傷させました。その後、後進の試験を行った際、損傷したポイントに乗り上げ、先頭車両の車輪が脱線しました。

原因 運転士が入換信号機の停止現示を見落としたため

影響 運休7列車 遅延123列車

対策 出庫作業に関するマニュアルを新たに作成し、関係係員に注意点を徹底しました。

◎宝塚本線 川西能勢口駅構内 入換信号の停止信号冒進によるポイント損傷

日時 2012年1月18日(水)7時35分頃

場所 宝塚本線 川西能勢口駅構内

概況 川西能勢口駅6号線(引上げ線)の列車を同駅3号線に入換する際、運転士が入換信号機の停止現示を見落とし進行したため途中でATSが動作し、停止しました。しかし、運転士は3号線まで進行できると思い、ATSを解除して進行し、進路が開通していないポイントを損傷させました。

原因 運転士が入換信号機の停止現示を見落としたため

影響 運休59列車 遅延246列車

対策 ATSの取扱いと入換運転の留意事項について、関係係員に再教育いたしました。

◎神戸線 西宮車庫内 入換信号の停止信号冒進によるポイント損傷

日時 2012年6月8日(金)6時40分頃

場所 神戸線 西宮車庫構内

概況 車両を出庫させる際、運転士が入換信号機の停止現示を見落とし進行したため、進路が開通していないポイントを2箇所損傷させました。

原因 運転士が入換信号機の停止現示を見落としたため

影響 運休20列車 遅延61列車

対策 万が一、車庫内において入換信号機の停止信号を見落としても、ATSにより車両を自動的に停止させるシステムを導入します。